**２０２３年７月28日(金)　虚子記念館会場**

仲　寒蟬

鬼百合の咲いて戸口に影を生む 久保千恵子

黒塀の続く城下や道をしへ 大根原志津子

向日葵の一ト本愉快さうでもなく 本井　英

炎天や平らな道が小諸にも 本井　英

〇 奥まりてスナック夕子蔦茂る 原　水和実

土肥あき子

吸ひ込まれさうな青空田水沸く 新村美那子

〇 向日葵の一ト本愉快さうでもなく 本井　英

子の孫の曾孫の峰や入道雲 仲　寒蟬

園児らの別れにぎやか青蛙 久保千恵子

威勢良く上がるシャッター凌霄花 大根原志津子

塩川　正

中干しの夏只中の青田かな 本井　英

空つぽの心抱けば道をしへ 新村美那子

白雲を浮かべて虚子の甕涼し 土肥あき子

吸ひ込まれさうな青空田水沸く 新村美那子

〇 紫苑まだ少年の丈虚子旧居 海野良三

大根原志津子

〇 道をしへ死しても色を失はず 仲　寒蟬

フェンネルが育つて咲いてピザの店 青木百舌鳥

炎天を歩みて思考回路失し 沼田布美

地の熱の噴きこぼれたる凌霄花 仲　寒蟬

炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

沼田布美

フェンネルが育つて咲いてピザの店 青木百舌鳥

白雲を浮かべて虚子の甕涼し 土肥あき子

土は灼け石さらに灼け道をしへ 本井　英

〇 地の熱の噴きこぼれたる凌霄花 仲　寒蟬

炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

新村美那子

道をしへいつもと違ふ家路かな 沼田布美

〇 もてなしの声ほがらかにトマト食ぶ 平松貴子

白雲を浮かべて虚子の甕涼し 土肥あき子

土は灼け石さらに灼け道をしへ 本井　英

地の熱の噴きこぼれたる凌霄花 仲　寒蟬

本井　英

炎帝の雲の玉座の湧きあがる 土肥あき子

奥まりてスナック夕子蔦茂る 原　水和実

〇 地の熱の噴きこぼれたる凌霄花 仲　寒蟬

炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

いつか滝になりたしと川きらめきぬ 土肥あき子

青木百舌鳥

もてなしの盥にきゆうりトマト冷ゆ 近藤作子

〇 向日葵や園舎に向きて咲き揃ひ 平松貴子

炎天や平らな道が小諸にも 本井　英

園児らの別れにぎやか青蛙 久保千恵子

土は灼け石さらに灼け道をしへ 本井　英

久保千恵子

笑ひ皺深く小諸の人日焼 青木百舌鳥

炎帝の雲の玉座の湧きあがる 土肥あき子

縁側に涼風通る虚子旧居 新村美那子

紫苑まだ少年の丈虚子旧居 海野良三

〇 炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

平松貴子

青田風迎への母におんぶされ 近藤作子

道をしへいつもと違ふ家路かな 沼田布美

道をしへどこにも居らず道失ふ 久保千恵子

〇 紫苑まだ少年の丈虚子旧居 海野良三

炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

原　水和実

炎天や平らな道が小諸にも 本井　英

〇 炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

いるわいるわ俳句たんぼに青蛙 新村美那子

向日葵の一ト本愉快さうでもなく 本井　英

土は灼け石さらに灼け道をしへ 本井　英

近藤作子

雷声は遠し小諸の水荒し 青木百舌鳥

〇 虚子の道ひかりを恋うて夏の蝶 久保千恵子

浅間山ゆらぎて見ゆる炎暑かな 平松貴子

紫苑まだ少年の丈虚子旧居 海野良三

炎昼の音失せしとき雲育つ 青木百舌鳥

海野良三

青田風迎への母におんぶされ 近藤作子

道をしへ死しても色を失なはず 仲　寒蟬

炎天を歩みて思考回路失し 沼田布美

〇 地の熱の噴きこぼれたる凌霄花 仲　寒蟬

威勢良く上がるシャッター凌霄花 大根原志津子